**職務経歴書**

2023年10月20日　現在

氏名：

**【職務要約】**

●●大学●●学部卒業後、（卒論テーマ『●●ロボットの開発』）、●●株式会社に入社しました。設備保全課に配属され、工作機械、組立設備などの保全業務に従事しました。既存のラインの設備の事後故障に対応するだけでなく、予防保全まで経験し、新規ラインの設備導入にも携わり、初期の不具合の対策を行いました。\*\*年目からは班長に昇進し、\*\*名の部下のマネジメントを行っています。

**【職務経歴】**

|  |
| --- |
| 社名：●●株式会社　　　　<　20\*\*年\*\*月～　現在　　在籍期間：\*\*年\*\*ヵ月>  事業内容： 自動車部品の開発・生産・販売  本社所在地：●●県●●市　　　　　　　　勤務地：●●  資本金：\*\*億\*, \*\*\*万円　　売上：\*,\*\*\*万円　　従業員数：\*\*名　　　　上場：東証プライム |

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 20\*\*年 \*\*月  |  20\*\*年 \*\*月  （　ヵ月） | **●●工場　製造技術部　設備保全課**  自動車部品の生産ラインの安定的な稼働を維持するために設備故障の修理対応及び、設備の故障を防止するための予防保全の実施。  【具体的な業務内容】  ・生産ラインの設備の突発修理対応  ・予防保全の対策立案と実行  ・保全方法のマニュアルの作成  ・大型設備のO/Hの計画立案と実行  【工夫した点・実績】  ●●設備の修理時間の短縮  ●●設備の●●の故障の修理に2人×4Hの工数がかかっており、作業を分解して時間がかかっている作業の短縮方法を検討しました。●●の部品の分解、抜き取りに時間がかかっていたため、治具を作成してスムーズに部品を抜き取れるようにしました。結果、2人×3Hに時間短縮をできました。同設備が他工場含め\*\*台あり、年間で1台あたり\*\*回故障するため、年間で\*\*時間の短縮（費用換算で\*\*万円の削減）を実現しました。  【所属部署・役割・人数】  設備保全課（機械チーム）：\*\*名  【使用ツール・開発環境・使用機器】  ・各種工具 |
| 20\*\*年 \*\*月  |  現在 | **●●工場　製造技術部　設備保全課**  班長に昇格し部下（\*\*名）のマネジメントを行いました。  新規設備導入の立ち上げに携わりリスクアセスメントの実施、初期故障の対応を行いました。  設備のBCPの対策を行いました。  【具体的な業務内容】  ・新規設備のリスクアセスメントの実施  ・FTAを活用した予防保全の対策立案  ・部下のマネジメント  ・ISO・IATFの監査の対応  ・設備のBCP対策の立案と実行  【工夫した点・実績】  新規設備導入に際してリスクアセスメントを製造、生産技術部署、設備メーカーと実施して抜け漏れなくリスクを抽出しその対策を実行した。1台当たりSランクのリスクが20個あったが実施後は全てBランク以下に改善。  大規模地震を想定した●●設備のBCP対策の計画を立案・実行。具体的には●●の対策を盛り込むことで大規模地震が起きた際もリスクを最小限に抑え、早期稼働を実現することが出来た。  【所属部署・役割・人数】  設備保全課（機械チーム）：\*\*名  役職：班長（部下\*\*名）  【使用ツール・開発環境・使用機器】  FTA・FMEA |

**【得意分野・スキル】**

◇設備メンテナンススキル（事後保全、予防保全）

◇社内外での折衝経験

◇QC7つ道具・新QC7つ道具の手法理解

◇FTA・FMEAを活用した故障対策の立案

◇ISO9001・IATF16949の知識

**【大学時代の研究内容】**

研究テーマ『●●ロボットの開発』

概要：卒業研究では、無線制御可能なロボットの開発を通じて、農業で働く方々の負担軽減を目指しました。ロボットの設計には、動力伝達機構、モーター、バッテリー、軸受などの選定から始まり、草刈り用回転ブレードや草巻き付き防止機構、軽量な外装のデザインまで、総合的なアプローチで取り組みました。私は詳細設計から、CAEソフトを用いた応力解析までを担当しました。

使用ツール：solidworks、CAEソフト

**【取得資格】**

|  |  |
| --- | --- |
| \*\*年\*\*月 | 普通自動車第一種免許　取得 |
| \*\*年\*\*月 | 自主保全士　1級　取得 |
| \*\*年\*\*月 | 機械保全技能士　2級　取得 |
| \*\*年\*\*月 | QC検定　3級　取得 |

**【語学力】**

≪英語≫

資格：TOEIC　\*\*点（\*\*年\*\*月）

ビジネス利用：電話会議（年\*\*回程度）、メール、論文読解

**【PCスキル】**

≪Excel≫

四則計算/VLOOKUP関数によるデータ検索、抜き出/ピボットテーブル用データベース作成、データ集計、分析/

マクロによる業務効率化

≪Word≫

各ビジネス文書作成（挨拶状・送付状の作成）

≪PowerPoint≫

社内外のプレゼンテーション資料の作成

**【自己PR】**

**関係部署との理解と合意を重視する提案と課題解決の取り組み**

私は単に提案を押し付けるのではなく、相手側にも提案のメリットを理解してもらうことに注力し、双方が納得感を持ちながら業務を進めるよう心掛けてきました。

具体的な事例として、●●設備の改善に関する依頼がありました。この依頼に対して製造部門は十分な予算を確保していなかったため、私は一旦その提案には応えられない可能性を示しながらも、低予算で実現できる●●設備の改造を提案しました。具体的には、●●設備の横に設置することで同等の効果を得ることができると説明しました。

最初は提案が要望と異なる内容であったため、製造部門は懐疑的な態度を示しましたが、私は設備メーカーの技術者を現場に招き、製造部門に向けてデモンストレーションを行い、具体的な効果を実証しました。その結果、製造部門も納得し、当初、予算オーバーで実現できなかった改善を別の方法で実現することができました。このような経験を通じて、私はコミュニケーションと説得力の重要性を強く感じています。

以上のように、私はコミュニケーション能力を活かし、提案や課題解決において双方の理解と合意を得るための努力を惜しまない姿勢を持って業務に取り組んでいます。

**製造現場の要望の掘り下げと効果的な提案**

相手からの要望を受ける際には、その要望が本当に相手が求めている理想的なものかどうかを常に考えるようにしています。

日々、製造現場から設備の改善提案を受け、それらの改善を実行していますが、その際には改善内容だけでなく、製造現場の理想に近い解決策があるかどうかも検討するように心がけています。

具体的な例を挙げると、製造現場からの要望として、特定のエリアに作業者の手が入った際に設備が緊急停止する仕組みを求める提案がありました。これは安全性の向上のために重要な要望であり、光電センサーを取り付け、即座に実行することができました。しかし、私は現地で作業者の方と直接話をし、どのような状況で作業者の手がそのエリアに入るのかを詳しくヒアリングしました。その結果、異常処置時や清掃時にしか手が入らないことが分かりました。そのため、私はより安全かつ効果的な改善案を提案しました。具体的には、その特定のエリアにカバーを取り付け、そのカバーに近接センサーを設置し、カバーを外すことで設備が停止する仕組みです。これにより、光電センサーに反応して、停止する仕組みよりも、物理的な安全性が高まり、さらに、当初の案に比べ、費用を\*\*万円削減できることもでき、提案が採用されることとなりました。

このように、私は単に依頼をこなすだけでなく、常により良いアイデアがないかを模索し、実行できる姿勢を持っています。

**職務経歴書**

2023年10月20日　現在

氏名：

**【職務要約】**

　～～～～～～～

　～～～～～～～

　～～～～～～～

☆ポイント☆

いつ、どの企業で、どのような業務を行っていたのか、3行から7行程度を目安にまとめます。最初に要約を記しておくことで、「この後に何が書いてあるのか」を理解してもらいやすくなります。だらだらとした長い文章では、最後まで読んでもらえないばかりではなく、「自分の意図を簡潔に伝えられない人なのでは」など、プレゼンテーション能力が低いという評価をされてしまうかもしれません。そのため、曖昧な表現は避け、事実をベースに構成し、より具体的な内容に落とし込みましょう。

**【職務経歴】**

|  |
| --- |
| 社名：●●株式会社　　　　<　20\*\*年　月～　現在　　在籍期間：\*\*年\*\*ヵ月>  事業内容：  本社所在地：　　　　　　　　勤務地：  資本金：\*億\*,\*\*\*万円　　売上：　　　　　従業員数：\*\*\*名　　　　上場： |

☆ポイント☆

続く職歴の項目で説明する企業について、社名、規模、事業内容をまとめます。必要に応じて、雇用形態についても書き添えておきましょう。複数社記載する場合には、単位（金額/万円、人数/名など）を統一できているかもご確認ください。こちらのフォームでは、新しい順に所属企業を並べていますが、ご自身の経験のアピールが出来るのであれば、時系列（入社順）でも、どちらでも大丈夫です。また、西暦、和暦に関してはどちらを使用しても問題ありませんが、混在を避け、履歴書とも統一するようにしましょう。

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 20\*\*年\*\*月  |  20\*\*年\*\*月  （　ヵ月） | **～～～タイトル～～～～～～～**  ～～～～～～～～～～～～～  ～～～～～～～～～～～～～  ☆ポイント☆  企業には提供しているサービス/製品があり、それ実現するために、様々な部署がそれぞれのミッションを持ち、そのミッションを達成するために各人に業務が割り当てられています。冒頭でご自身の役割が分かるように、文書ベースでまとめて、仕事内容のイメージを持ってもらうようにしましょう。タイトルについては、その内容を分かりやすく表現できると良いです。  【具体的な業務内容】  ・  ・  ・  ☆ポイント☆  具体的な業務内容を箇条書き、ないし、箇条書き＋補足文書で記載しましょう。この際、よりメインの業務を上位に記載をし、頻度の少ない業務は下に来るようにすると良いです。必要に応じて、業務頻度を書き添えても分かりやすく伝えられます。  【工夫した点・実績】  ☆ポイント☆  業務の中で、工夫した点や実績、改善エピソードなど、特に強調したい実績がある場合には、簡潔にまとめられると良いです。その際、〇％削減、〇％改善、〇％達成など、数値的な表現があると説得力が増します。【自己PR】と内容が被る場合には、こちらは記載をせずに、【自己PR】で詳細に書いて頂いても大丈夫です。または、こちらでは簡単に記載をし、【自己PR】でより詳細に記載するのでも良いです。  【所属部署・役割・人数】  ☆ポイント☆  所属の部署名や規模感を記載することで、より業務イメージを分かりやすく伝える一助になります。  【担当フェーズ】  ☆ポイント☆  業務のどの部分を担っているのかが分かると、業務の幅と深さが伝わりやすくなります。ただ、表現しにくい業務の場合もありますので、特に記載しなくても、他の部分で伝わっていれば、記載はなくて大丈夫です。  【使用ツール・開発環境・使用機器】  ☆ポイント☆  業務で使用したツール等を記載しましょう。場合によっては、【得意分野・スキル】と重複するかと思いますが、どの業務で使用していたかが一目瞭然に分かるので、重複しても問題はないです。  ☆全体を通してのポイント☆  全ての項目を必ず記載したほうが良いということではありません。ご自身の経験を棚卸し、当てはまらない項目は削除し、あるいは項目を変更・追加頂いて大丈夫です。大切なことは、自身の経験を、定量、定性の双方から適切に、分かりやすく伝えることです。 |
| 20\*\*年\*\*月  |  20\*\*年\*\*月  （　ヵ月） | **～～～タイトル～～～～～～～**  ～～～～～～～～～～～～～  【具体的な業務内容】  ・  ・  【工夫した点・実績】  【所属部署・役割・人数】  【担当フェーズ】  【使用ツール・開発環境・使用機器】 |

|  |
| --- |
| 社名：●●株式会社　　　　<　20\*\*年　月～　現在　　在籍期間：\*\*年\*\*ヵ月>  事業内容：  本社所在地：　　　　　　　　勤務地：  資本金：\*億\*,\*\*\*万円　　売上：　　　　　従業員数：\*\*\*名　　　　上場： |

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 20\*\*年\*\*月  |  20\*\*年\*\*月  （　ヵ月） | **～～～タイトル～～～～～～～**  ～～～～～～～～～～～～～  ～～～～～～～～～～～～～  【具体的な業務内容】  ・  ・  ・  【工夫した点・実績】  【所属部署・役割・人数】  【担当フェーズ】  【使用ツール・開発環境・使用機器】 |
| 20\*\*年\*\*月  |  20\*\*年\*\*月  （　ヵ月） | **～～～タイトル～～～～～～～**  ～～～～～～～～～～～～～  ～～～～～～～～～～～～～  【具体的な業務内容】  ・  ・  ・  【工夫した点・実績】  【所属部署・役割・人数】  【担当フェーズ】  【使用ツール・開発環境・使用機器】 |

**【得意分野・スキル】**

◇

◇

◇

☆ポイント☆

基本的には箇条書きで表現をし、一目でわかる内容でまとめられると良いです。忙しい選考官に一目でアピールする項目です。得意分野となると、得意なものが無いと悩まれる方もいますが、人と比べて得意かという観点ではなく、ご自身の経験上、頻度高く取り組んできたことなどをスキルとして記載いただければ大丈夫です。こちらも、より得意なもの、頻度の高いもの、応募企業との親和性の高いものが上にくるように並べましょう。実務経験に限らず、自身で勉強している内容を記載していただいても大丈夫です。特に自己研鑽の内容については、直接業務と関係がなくても、勤勉な印象を与えられます。

また、第2新卒・20代の方は、学生時代の学習内容（授業、研究内容、ロボットコンテスト参加、学生フォーミュラ大会参加など）もアピールになるので、必要に応じて記載いただけると良いです。

なお、応募職種/企業が決まっている場合には、その職種に必要な能力、具体的には、求人票に記載の必須要件などと合致する経験があれば、こちらに書くと、選考官に親和性を見出してもらいやすいです。

**【大学時代の研究内容】**

研究テーマ『～～～～～～～～』

概要：～～～～～～～

～～～～～～～～

～～～～～～～～～

☆ポイント☆

卒業研究などを簡単にまとめていただく項目です。キャリアチェンジをして、実務ではなく、学生時代の経験を活かした仕事にチャレンジしたい、実務経験年数が短く、アピール要素がやや少ない時などは、記載を頂けると良い項目です。反対に、社会人キャリアが長く、実務や今後のご希望ともあまり関係がなく、アピールの要素として相応しくない場合には記載しなくて大丈夫です。なお、もし研究要旨（PDF1枚程度でまとめたものなど）があり、ご提出したいということがあれば、参考資料として、企業に提出することも可能です。

**【取得資格】**

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月 |  |
| 年　月 |  |
| 年　月 |  |

☆ポイント☆

履歴書記載の資格名称、取得年月と相違がないようにご注意ください。

**【語学力】**

≪英語≫

資格：TOEIC　\*\*\*点（20\*\*年\*\*月）　　英語技能検定\*級（20\*\*年\*\*月）

ビジネス利用：

海外駐在（国：　　　期間：　　　）、海外出張（年\*回）、電話会議（月\*回）、メール、論文読解

留学経験：

その他：

≪●●語≫

資格：

ビジネス利用：

海外駐在（国：　　　期間：　　）、海外出張（年\*回）、電話会議（月\*回）、メール、論文読解

留学経験：

その他：

☆ポイント☆

実際に実務でどの程度、使用できそうかを確認する項目です。即戦力レベルではないにしても、確認されることが多く、使用されていたということがあれば、記載をしましょう。もし、学習中の内容があれば、それも記載をいただくと良いです。

英語以外の言語においても、ご経験があれば記載しましょう。外国籍の方は、日本語の使用経験についても記載があるとより丁寧です。

**【PCスキル】**

≪Excel≫

表やフォーマット、リストの作成/書式や印刷設定/四則計算/SUM関数による足し算、PRODUCT関数による割り算/

オートフィルタによるデータの絞り込み/データの並び替/VLOOKUP関数によるデータ検索、抜き出/

IF関数による条件検索、表示指定/その他関数（SUMIF・CONCATENATE・MID・LEFT・RIGHTなど）によるデータ加工・分析/

ピボットテーブル用データベース作成、データ集計、分析/マクロによる業務効率化

≪Word≫

各ビジネス文書作成（挨拶状・送付状の作成）/見積書・請求書の作成/テンプレート作成/図表・画像の挿入/

コメントや変更履歴の設定/差し込み印刷設定

≪PowerPoint≫

社内外のプレゼンテーション資料の作成/スライドテーマ・スライドショーの設定/アニメーション効果、画面切り替え効果の設定/

図形、表の作成/用途に適した印刷設定

☆ポイント☆

使用したソフト、また、その用途について、当てはまるものを記載ください。足りない項目があれば追記をしましょう。

**【自己PR】**

**●●●●タイトル●●●●**

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

**●●●●タイトル●●●●**

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

☆ポイント☆

実務経験・実績をベースとしたエピソードをもとに、ご記載ください。結論部を先に記載し、その後にエピソードを記載するとスムーズです。エピソード選定のポイントとしては、【得意分野・スキル】の部分と同様にはなりますが、頻度高く取り組んできたこと、応募企業/職種との親和性の高い項目の他、特に強調したい経験（リーダー経験、社内受賞のある経験など）も良いです。この際、選考官は初めて、そのエピソードを聞くので、メインとなる部分に必要な要素でエピソードを構成すると分かりやすくなります。また、実績においては数値を用い、PDCAサイクルが分かる表現になると、再現性（＝うちの会社でも活躍できそう！）がある、と認識されやすくなります。

反対に、ご自身の性格のアピールや抽象的な内容は避けた方が無難です。性格や一般的なビジネスマナーについては、客観的な判断が難しいものが多いです。ただ、もしそういったエピソードを記載するのであれば、具体的な成果へ、どの様に結び付けたか、という部分を記載しましょう。

また、キャリアチェンジを希望される場合には、なぜその職種/業界に挑戦したいのか、という理由も記載いただけると良いです。

最後に、タイトルが内容とあまり合っていないことも多いです。エピソードを書いた後に、改めてその内容を表現するのに相応しいタイトルかを確認しましょう。

☆全体を通してのポイント☆

＜レイアウトなど全体構成について＞

読みやすい職務経歴書かというのも、とても重要です。書類選考官は日々、たくさんの職務経歴書に目を通すため、分かりやすく、読みやすいか、つまりはパッと見たときに、読みたくなるかということです。

具体的には、

・文書ばかりで、まるで論文のようになっている

　→表や箇条書き、タイトルを記載するなどして、見やすくし、見出しだけでも大筋が伝わるようにしましょう

・不自然な改行、句読点がない、誤字・脱字がないこと

　→自身の経験をアピールする文書です。書き終わった後にはきちんと読み直し、失礼のないようにしましょう

・フォントサイズがバラバラ、ですます調、数字の全角・半角・縦列がそろっていない

　→フォントサイズに決まりはありませんが、こちらのフォームは、見出しとなる部分は10.5ポイント、文書は9ポイントにし、MSP明朝にしています。「ですます調」「である調」もどちらでも良いですが、文書内で混在は避けましょう。全角・半角も同様です。縦列などは、記載をしているうちにずれてくることもあるので、最後に直しましょう。

＜情報の正確性/更新＞

転職活動が長期になってくると、ご自身の部署異動や、場合によっては先に退職をすることもあるかもしれません。履歴書、職務経歴書の記載内容に変更が生じた場合には、情報を更新いただき、再度、ご提出をお願いします。

☆最後に☆

こちらのフォームは参考であり、全ての項目を必ず記載したほうが良いということではありません。ご自身の経験を棚卸し、当てはまらない項目は削除し、あるいは項目を変更・追加頂いて大丈夫です。大切なことは、自身の経験を、定量、定性の双方から適切に、分かりやすく伝えることです。

職務経歴書の作成は、正直、かなり大変な作業で、途中で面倒になり、手が止まってしまう方も多いです。しかし、一生を左右する大事なはじめの一歩です！一生懸命に作成されたかどうかは、応募企業にも伝わります。また、書類の段階から、自身の業務をしっかりと棚卸すると、その後の面接でも、話しやすくなります。

とは言え、大変な作業に変わりはありませんので、悩んだ時には、お気軽に担当アドバイザーへご相談ください！

一緒に頑張りましょう！！